



## 歯学部創設30周年



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 五十嵐 武  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>

昭和大学歯学部は創設30周年を迎えます。

### 小児成育歯科学教授就任挨拶

小児成育学教室 井上 美津子

この度、6月13日付をもちまして、昭和大学歯学部小児成育歯科学教室を担当させていただくことになりました。



少子化の進むなかで、子育てが難しくなった状況ゆえに、専門的なサポートがより必要になってきている時代です。小児歯科は文字通り“子どものための歯科”ですが、そのサポートの対象は親や兄弟を含めたファミリーです。私共の教室は平成16年より小児成育歯科学と講座名を変更しましたが、これは妊娠期から小児期を通じて子どもの成長発育を見守り支えるとともに、思春期から成人して次世代を育てるまでの継続的な支援をめざしてのことです。

小児の齲蝕は減少しましたが、歯の外傷の増加や歯のはえ方や口腔習癖、食べ方など口に関連する問題で悩む保護者は少なくありません。多様な主訴をもった小児と保護者に、よりよい助言や治療を提供したいと考えています。また、全身疾患や障害のある小児、最近増加しているアレルギーのある小児の診療に際しては、歯科病院各科や医学部小児科との連携を積極的に推進していきたいと思っております。さらに医系総合大学の小児歯科として、医学部の小児に関連した各科と連携して、病棟での口腔ケアを中心とした口の健康支援を行っていく予定です。EBMに基づいた口腔保健管理の実践のためにも、基礎系講座のご指導、ご協力をいただいで臨床の裏付けとなるような研究を行っていきたくと考えています。

口の care と cure を通じた“子どものこころと身体”の健康支援”を実践しながら、子ども達の健やかな未来を支えるために、教室員一同頑張りますので、皆様のさらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 行事予定

広報委員長 五十嵐 武

8月18-20日: 歯学教育者のためのワークショップ

8月26日(土): 第2回歯学部進学相談会(洗足)

9月23日(土): 第3回歯学部進学相談会(旗の台)

### 四大学歯学部交流会に参加して

齲蝕・歯内治療学教室 木村 裕一

第4回四大学歯学部(北海道医療大学、岩手医科大学、福岡歯科大学、昭和大学)交流会が平成18年7月3、4日に北海道医療大学の主催で行われました。本学からは宮崎歯学部長、歯科補綴学教室の塚崎助教授、顎口腔疾患制御外科学教室の片岡講師、齲蝕・歯内治療学教室の木村助教授、そして教務課から朝倉課長と古矢係長の6名が参加しました。

1日目は北海道医療大学の当別キャンパスの総合図書館大会議室に集合して、松田一郎 学長、大野弘機 歯学部長、栗田 寛 事務局長の挨拶から始まりました。その後、参加者全員が自己紹介をして開会式を終了しました。続いて、1日目のテーマである『カリキュラムの現状と特色について』の発表を各大学から行いました。本学からは、木村助教授がD5臨床実習、特に共同診療室での中央方式の臨床実習について、片岡講師がD6選択実習について発表しました。質疑応答も活発に行われ、予定していた時間をオーバーしても議論しつくせなかった感がありました。その後、当別キャンパス内の各施設を見学しました。

2日目は宿泊先からバスで札幌あいの里キャンパスに移動し、2日目のテーマである『歯学教育の現状と問題』について、特に今年度から必修化になり各大学で苦勞の多い、研修歯科医制度について討議しました。本大学からは塚崎助教授が発表しました。このテーマについても予定時間をオーバーするほど活発な議論がなされました。その後、大学病院の施設を見学させていただき、閉会となり、札幌駅で解散いたしました。

今回の当番大学である北海道医療大学の先生方、事務の方々から終始、温かく歓迎して頂き非常に感謝しております。ほんの一部かもしれませんが、他大学の情報を知る機会を得て、とても参考になりました。次回は本学が当番の予定です。



## 平成18年度父兄会総会開催される

歯学部長 宮崎 隆

平成18年度の昭和大学父兄会総会が、6月24日(土曜日)午後2時から本学上條講堂で開催され、平成17年度の決算、平成18年度の事業計画案、予算案、役員改選案、および秋季部会の日程案が原案通り承認されました。引き続き、各学部に分かれて学部会が開催され、歯学部からは1号館7階講堂が満席になる161名の参加者がありました。

同日は午前中に6年生の学生対象の説明会、午後1時から6年生の父母を対象に説明会を開催し、卒業判定、国家試験までの準備、卒業研修制度、本学歯科病院の研修プログラムなどについて各担当教員から説明を行いました。

全体の歯学部会では、宮崎歯学部長から本歯学部の現状について、入学試験の結果、新カリキュラムの進行状況、特にPBLや選択実習、新しい形式の臨床実習、およびハイテクリサーチセンター事業などを紹介しました。また、学部として国内外の多くの大学と流プログラムを締結し、学生の交流に力をいれているので、積極的に選択実習にチャレンジするようにご父母にもお願いしました。さらに今秋に開催予定の30周年記念事業を紹介し、ご父母のご支援をお願いしました。

夕方、50年記念館で開催された懇親会には例年以上の出席者があり、学長を交えて懇親を深めました。秋季部会は11月25日(土)に開催の予定です。

## 夏季スポーツ大会壮行会

学生部長 立川 哲彦

夏季スポーツ大会壮行会が7月7日(金曜日)に開催されました。本壮行会は本年度で11回目を迎え、4学部のスポーツクラブばかりでなく文系クラブからも多くの学生が参加いたしました。

諸星学生部長の開会の辞の後、学長より、夏の東医体、歯学体では勝負には勝つことが大事であり、全力を出し切って戦い、昭和の名をさらに高めるようにという訓辞があり、学生諸君は気を引き締め、戦いに挑む意気込みが見られました。さらに各学部長、立川歯学体理事から激励のことばがあり、アイスホッケー一部主将より選手宣誓が行われました。

式後、すぐに先生を交えた交歓会に移り、学生は夏の大会に向け多くの激励を受けていました。

## D6選択実習報告会

選択実習委員会 山本 松男

本学歯学部6年生の選択実習報告会が7月5日(水曜日)の夕刻に開催されました。宮崎歯学部長より選択実習を含む本学歯学教育への取り組み、佐藤教育委員長より歯科学教育の中での選択実習の位

置づけや狙い、山本教授からは特に来年度に履修するD5の学生に対して選択実習の概要を説明しました。それらに引き続き、終了直後のD6の学生より、それぞれの場で体験できたこと、共診では学べなかった内容、他校の教育・診療現場の様子やそれらを体験した後での感想などをデジカメ写真等を交えて報告してもらいました。学内プログラム、学外プログラム、海外プログラムあわせて6つの報告を、参加した10人の学生が行いました。他にも充実したプログラムが多数ありましたが、時間の制限で報告ができなかったのが残念です。

来年以降も、ますます内容を充実させるように努力します。是非、教員皆様のご協力をお願いします。また、学生諸君の積極的な取り組みが選択実習の本質です。与えられるだけではなく、自らが疑問点、関心、目標を持って取り組むようにしてください。昭和大学歯学部ならではの実習になることを確信しております。

選択実習プログラム実施にあたり、ご協力をいただきました先生方、関係諸氏にこの場を借りて御礼申し上げます。

## アデレード大学からの学生受け入れ

学生国際交流支援委員会 山本 松男

アデレード大学歯学部と本学歯学部間の交流プログラムに従い、今までは本学から学生を派遣していましたが、本年は初めて2人の学生(EJ Hwang君、Hieu Le君、ともに最終学年5年生)が選択実習(SELECTIVE)を目的に来校いたしました。



7月3-7日までインプラントによる咀嚼機能の回復をテーマに、解剖学、補綴学、歯周病学、歯科放射線学、歯科理工学、インプラント科(顎口腔疾患制御外科学)のそれぞれの診療室、研究室にて実習および講義に参加していただきました。

また本学歯学部6年生の選択実習報告会にも参加してくれ、今回アデレード大学に実習に行った仁村由比子さんの報告の後、お二人にアデレードの紹介を追加していただきました。参加したD5、6学生はもとより教員もアデレードに対する関心をより深めました。

プログラムの充実を図り、交流がより発展するように頑張っていこうと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

## D6選択実習:初めて学外施設を経験して

歯学部6年 梅澤 邦明・嶋本 浩道

私たちは北海道医療大学で2週間、選択実習を経験しました。1週目は石狩郡にある歯科内科クリニック、2週目は札幌市内にある大学病院で実習を行いました。

1週目は総合診療科(保存・歯内・歯周)の外来見学が中心でした。建物、診療スペース、教室はい



ずれも広くゆとりがあり、電子カルテをはじめとする多数の最新機器を目の当たりにし、驚きの連続でした。また、歯学部でのD6講義・D4歯内療法実習に参加させていただき、学生の雰囲気や教育システムの違いを実感しました。さらに北医大の6年生とも交流を深め、お互いの学校の情報交換や国試の勉強や対策を話し合うことができました。

2週目に見学させて頂いた大学病院では、専門分野以外の全ての治療を一人の先生が行うという、一般開業医に近いシステムで運営されておりました。驚いたのはCAD/CAMが導入されており、実際に臨床で用いられていました。

北海道医療大学の病院施設は全て大きく、最新機器も導入されており、非常に恵まれていると感じました。その一方で、患者数、症例数が東京より少なく、認定医取得などは苦労されているようです。このように他大学の状況を知り母校の長所・短所を知ることができ、また、他大学に行ったことにより社会人と学生の差、社会人としての最低限のマナーや責任を学ぶことができました。



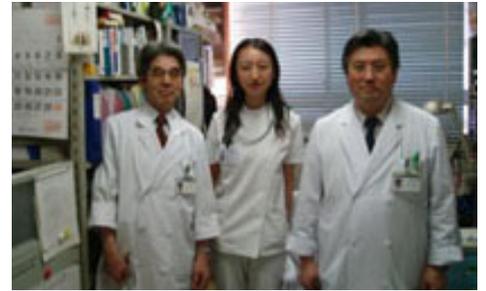
今回ご指導して頂いた北海道医療大学の古市教授、舞田教授、そして本学の宮崎歯学部長、立川学生部長、山本教授の多大なご尽力により、充実した選択実習をおこなうことができ感謝の気持ちで一杯です。この経験を生かし、良き歯科医師になるように努力していきたいと思っております。

## D6選択実習:学外実習での貴重な経験

歯学部6年 岡本 彩子

私は4月17-28日の2週間、岩手医科大学で選択実習を行いました。岩手医科大学にとって、私が昭和大学からの最初の学外実習生だったこともあり、先生方も「可能な限り希望通りにやりたいことをやりましょう」と言って下さりとても安心しました。

初日は大学内の案内、お世話になる先生方やクラス委員の方々との顔合わせなど、緊張しないようにみなさんとても気を使って下さいました。実習は先生とのマンツーマンで、患者さんの治療やアシスト・見学、講義や治療計画などを行いました。



また、岩手医科大学の6年生のみなさんや臨床研修医の先生方と交流する機会を、たくさん作っていただきました。学生さんたちは昭和大学にとっても興味をもって下さり、昭和大学の特徴やマッチングなど様々な質問をされました。話すことによって、自分の大学の良いところや、魅力のあるところを改めて認識することができました。6年生のみなさんとは今でもメールのやりとりなど交流を持ち、お互い国家試験に向けて励ましあっています。



実習に参加するまではとても不安でしたが、実習を行うと同時にその不安も消え、とても充実した毎日でした。雰囲気も昭和大学に似て、先生方もとても温かく、戸惑っている私に優しく声をかけていただいたことがとても嬉しく、できるだけ積極的に参加しようと私なりに努力しました。学外実習に参加して少しではありますが、自分に自信が持てた気がします。このような本当に貴重な経験ができたことを嬉しく思います。

最後、受け入れて下さった岩手医科大学の水城晴美教授や御指導を下さいました先生方、学生のみなさん、そして実習を実現して下さいました宮崎歯学部長を始め、立川教授、山本教授やその他お世話になりました多くの方々に心から感謝いたします。

## 新任教授歓迎祝賀会(新谷教授・井上教授)

歯周病学教室 山本 松男

顎口腔疾患制御外科学主任教授として新谷悟先生が6月1日付で、小児成育歯科学主任教授として井上美津子先生が6月13日付で、それぞれご就任されました。社会の急速な発展や国民の医療への関心の増大、価値観の変化、歯科医師過剰状態等複雑な状況を背景に、昭和大学歯学部 of 将来を含め、我が国における今後の歯科医療・歯学教育のあり方や方向性を見極めるのは容易なことではありません。この様な中で大変頼もしいお二人の新任教授をお迎えし、旗の台にて歓迎の会を行いました。改めて歯学の発展に邁進する決意をしました。



## 歯学部同窓会支部長会

口腔生化学教室 上條 竜太郎

去る5月20日(土曜日)、歯学部同窓会の全国支部長会が歯科病院第1会議室で開催され、歯学部から宮崎歯学部長と私が出席致しました。歯学部同窓会では10名以上の同窓生がいる都道府県毎に支部長、10名以下の都道府県から代表が選出されており、1年に一度、全国から支部長・代表が一堂に会して近況報告や、歯科医療を取り巻く各地の話題が話し合われました。

宮崎歯学部長からは、教育、研究、診療をはじめ、近年の歯学部入学試験の動向等、歯学部の現況について、詳細にご説明いただき、普段は歯学部の現況を知る機会の少ない各地の同窓生にとって、非常に有意義な支部長会となりました。



また、その後の懇親会では宮崎先生を囲んで、在学中の思い出話から最近の歯科界まで多彩な話題に花が咲き、歯学部長と接する機会の少ない同窓生にとっては貴重な交流の場となりました。

## 学会賞受賞

広報委員長 五十嵐 武

・赤坂 恭一郎(高齢者歯科学教室 普通研究生)

2006年7月8日に札幌で開催された日本補綴歯科学会において、症例論文賞を受賞されました。

論文題名:「無歯顎者の顎堤高さの診査における主観的評価と客観的評価の関係」



## 診療統計(平成18年6月分)

医事課 長谷 孝義

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	18775	722.1	696.4	745.8
入院患者	349	11.6	9.2	13.3

## 編集後記

広報委員(歯科放射線学教室) 松田 幸子

歯学部便り7月号をお届けします。この号を担当している間は、曇りか雨の日が多く、さらに気温の変動も激しく、体調を崩された方も多かったのではないかと思います。大変お忙しい中、原稿をお書きいただいた先生方に厚く御礼申し上げます。

今号は6年生の選択実習関連の記事が多かったですが、山本先生をはじめ選択実習を担当された学内・学外の先生方ともに本当に大変だったと思います。

選択実習の学生さんの原稿から、学外研修によって自分の大学を客観的に評価することができたり、快く受け入れてもらえることのありがたさを感じたり、違う大学の学生さんとも心の交流をもてたようでよかったです。歯科医師という同じ志を持って勉強している他大学の仲間たちと触れ合う経験は、自分の視野を広げるのにとっても役立つと思います。学生さんたちがこういった経験を生かして、人とのコミュニケーションをとりながら、より多くの人のために役立つ歯科医師に育ててもらえたらよいと思っています。

1回目よりは編集の作業に慣れてきましたが、編集委員長の五十嵐先生、ありがとうございました。今後も昭和大学歯学部の活動としてアピールしたほうがよいと思われることがございましたら、広報委員までぜひご一報ください。よろしくお願いいたします。